



進路通信

みはるかす

第 8 号

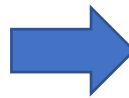
2020年10月26日発行

前南進路指導部

## 1 2021 年度大学入試の主なポイント

### ① 変更点

共通テストの利用  
 英語の資格・検定試験の利用  
 主体性等評価  
 募集人員の変更、改組 など



- ・知識に加え、思考力・判断力・表現力が問われる。
- ・英語の資格等を出願資格とする大学がある。
- ・主体性評価を出願要件にする大学が多いが、合否に活用する大学もある。

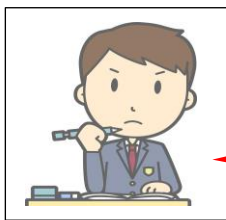
### ② 新型コロナウイルスによる影響を踏まえた変更点

総合型選抜の出願期間の変更  
 個別試験での出題内容の配慮  
 英語の資格・検定試験の配慮  
 追試験の実施 など



- ・試験日変更による併願先の日程の重なり
- ・出願資格・基準の変更（部活等の出場歴、英語の資格）
- ・入試方式の変更（オンライン面接の導入など）
- ・私大の試験日に受験できなかった場合の別日への振替の有無

大切なことは・・・

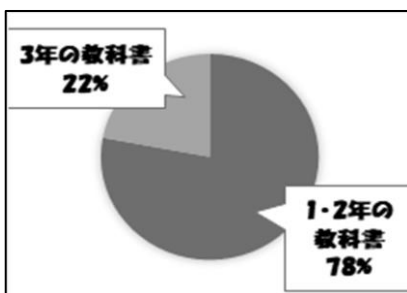


- ① 自分の受験する大学について、入試がどのように行われるのか情報収集することが重要！
- ② 選択肢が広がるよう準備を進めることも大切！
- ③ 最新の入試情報は各大学のHPに随時掲載されるので、こまめにチェックしておくことも大切！

### ③ 大学入試のポイント

国公立大学を目指す人→共通テスト得点率75%をめざそう！

共有テスト出題範囲



共通テストの78%は1・2年の教科書から出題され、22%が3年の教科書からです。言い換えれば、1・2年の教科書の内容を身につけることが大切なのです。まずは教科書の内容を理解し、演習を重ねることが大切です。

出典：ベネッセコーポレーション

## 2 受験勉強はいつから始めればよいか？

現役生が第1志望の大学に合格する割合が高いのは次のどれでしょう？

ア 高校1年2学期    イ 高校2年2学期    ウ 高校3年4月

正解は・・・ アの「高校1年2学期」です。

この時期から、自分の苦手科目を苦手分野まで分解して復習することを心がけ、予習→授業→復習のパターンを守れる人、かつ単語テストなどの小テストにも準備してから臨むなどの行動をできる人の現役合格率は97%だそうです。

次に合格率が高いのはイの「高校2年2学期」です。こちらは85%です。残念ながら3年4月に始めた人の合格率は37%まで落ち込んでしまいます。(数字は全てベネッセ・コーポレーションのデータによる)学校の授業、教科書、学校で使っているワークを中心に学習してください。

## 3 勉強だけすればよいのか？

民間人から初めて校長を務め「よのなか科」の授業でも有名な藤原和博氏によれば、今の若者に必要なのは「**情報処理力**」「**情報編集力**」「**基礎的人間力**」の三点だそうです。

「**情報処理力**」は知識のことで、正解の出し方を学ぶものです。「**情報編集力**」とは「**思考力・判断力・表現力**」のことで、様々な場面でいろいろな仮説を立て、創造できる思考力、判断力、またその仮説を他者に納得してもらおう表現力などです。これは学校や家族以外の第三者の人たちと交わり合うことで得られます。例えば、ボランティア活動や地域活動などで積極的に外部の人と交わる機会をもちましょう。部活動が忙しくて時間が割けない人は、新聞を読んだりニュースを見て、世の中で何が起こっていて何が問題なのか意識して知るようにしましょう。大学入試で面接やプレゼンテーションが新たに導入され、経験したことや考えたことを発表することが求められるのは、そのためです。最後に**基礎的人間力**ですが、スポーツ、行事、部活動、芸術などを通して**体力、忍耐力、精神力、集中力、持久力**等を養ってください。

たとえば、災害時の避難所で、次のどちらの行動ができるといいと思いますか？  
社会で必要とされる「**情報編集力**」「**基礎的人間力**」を鍛えよう！



周りを見て、  
自分にできる  
ことは何か考えて  
行動できる人

文句ばかり  
言ってる人



